

令和2年度（2020年度）

事業報告

令和2年（2020年）4月1日～令和3年（2021年）3月31日

公益財団法人庭野平和財団

[事業活動]

(公益目的事業1)

I. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究を推進する事業

宗教的精神にもとづく平和のための活動を推進する宗教組織および市民組織を次の事業で支援し、その活動の質的向上とその活性化を図る。

1. 宗教的精神にもとづく平和のための活動に関する社会調査・資料収集事業

宗教組織および市民組織が行う平和のための活動に関する社会調査・資料収集を行い、その結果を公表する。主たる目的は、それぞれの組織関係者の意識向上をはかることで、それぞれの組織活動の質的向上を目指し、宗教的精神にもとづく平和のための活動に資する。

(1) 社会調査

新型コロナウイルス感染拡大が市民組織やその活動に与える中長期的な影響に関して、関係する諸団体からオンラインで情報収集に努めた。

(2) 情報・資料収集

A. 東アジア平和フォーラムの日本と韓国の関係者によるコンサルテーション

令和2年11月13日、李起豪氏（韓神大学教授、ARI代表）と現在の日韓関係を中心として東アジアの状況やコロナ禍の市民団体に与える影響についてオンラインで情報交換した。さらに令和3年度のSEALの活動について提案があった。

B. 「9条世界宗教者会議」

第7回9条世界宗教者会議が、令和3年3月2日と3日にオンラインで開催された。（当初は、令和2年9月14日～18日、沖縄キリスト教学院大学を会場に開催が予定されていたが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大のため、開催形式を変更し、さらにその時期を延期して実施された。）

C. 助成事業の被採択団体に関する情報・資料収集

被助成事業の進捗や成果等を実地に知るため、採択された団体の行う事業に参加した。

月日	区分	団体／事業	場所
10.16	NPF	ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)／ 1次審査会	オンライン
11.13	NPF	ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)／ 2次審査会	オンライン
11.20	NPF	東アジア市民社会フォーラム／ 第11回東アジア市民社会フォーラム	オンライン
12.17	NPF	コリア子どもキャンペーン／ 令和2年度活動中間報告	オンライン
R3.3.2～3	NPF	9条世界宗教者会議／ 第7回9条世界宗教者会議	オンライン

2. 普及啓発事業

公益目的事業（社会調査・資料収集事業、庭野平和賞の事業及び助成事業）の成果を、宗教組織および市民組織の関係者を主たる対象に、セミナー、シンポジウムの開催により普及啓発する。そのことにより宗教組織および市民組織の人材の育成、専門知識の取得および組織の活動の充実を目指す。

(1) 庭野平和賞受賞者記者懇談会(京都) — II. 1. (2) の項参照

令和2年10月30日、第37回庭野平和賞受賞者によるスピーチ、京都宗教記者クラブの記者との質疑応答などによる懇談会を開催した。

(2) シンポジウム「共同体と信仰」

a. 日 時：令和2年11月5日 午後4時30分～6時10分

b. 会 場：オンライン（Zoom ビデオウェビナー）

c. 概 要：昨年は、「共同体に溶け込んでいる文化としての宗教の役割」をテーマに、私たちが直面している現代的な諸課題に取り組む際のヒントを探った。本年は、「共同体と信仰」をテーマに、内山節氏（哲学者）による基調発題、弓削田彰子氏（東洋大学印度哲学科・立教大学大学院 21 世紀社会デザイン科卒業。IT 企業会社員）による自身の修験道の修行体験に基づく報告、日野岳史乗氏（浄土真宗大谷派専立寺住職）による地域と共にあるお寺のあり方についての報告、その後ディスカッションをとおして、参加者と共に、科学的な合理性一辺倒になりがちな現代社会の中であって、特に若い世代が感じ、取り戻そうとしている信仰や死生観について認識を深めた。市民ら約40名が参加した。

(3) 現代社会を考えるセミナー

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大という事態を受けて、「新型感染症が与える影響と市民社会 連続セミナー」を、オンライン（Zoom ビデオウェビナー）で実施した。

<第1回>「新型コロナウイルスの感染拡大が、困難・課題を抱えた人々と、その支援者に与えた影響と今後 ①」

・日 時：令和2年6月22日 午後4時30分～6時

・登壇者：稲葉剛氏（一社）つくろい東京ファンド 代表理事
小河光治氏（公財）あすのば 代表理事

・進 行：川北秀人氏 IHOE[人と組織と地球のための国際研究所] 代表者

※約80名が参加した。

<第2回>「新型コロナウイルスの感染拡大への助成機関の対応のこれまでとこれから」

・日 時：令和2年7月15日 午後4時30分～6時

・登壇者：阿部陽一郎氏（社福）中央共同募金会 理事・事務局長
石原達也氏（一社）全国コミュニティ財団協会 常務理事・事務局長

・進 行：川北秀人氏 IHOE[人と組織と地球のための国際研究所] 代表者

※約60名が参加した。

<第3回>「新型コロナウイルスの感染拡大への宗教者の対応のこれまでとこれから」

・日 時：令和2年8月5日 午後4時30分～6時

- ・登壇者：戸松義晴氏（公財）全日本仏教会 理事
西原美香子氏（公財）日本YWCA 業務執行理事
 - ・進行：川北秀人氏 IHOE[人と組織と地球のための国際研究所] 代表者
- ※約 70 名が参加した。

＜第 4 回＞「新型コロナウイルスの感染拡大が、困難・課題を抱えた人々と、その支援者に与えた影響と今後 ②」

- （第 1 回～第 3 回の内容を踏まえた各セクターが今後取り組むべき対応についての解説）
- ・日時：令和 2 年 8 月 7 日 午後 4 時 30 分～6 時
- ・講師：川北秀人氏 IHOE[人と組織と地球のための国際研究所] 代表者 兼 ソシオ・マネジメント 編集発行人

※約 70 名が参加した。

(4) BNN（仏教 NGO ネットワーク）活動の促進

BNN の活動の促進に貢献するため、企画委員会等に参加し、BNN が主催する『寺院備災ガイドブック』の普及活動や講演会等の開催に協力した。また、BNN ニュースレターの企画、編集に協力した。

会議日：令和 2 年 7 月 21 日、9 月 7 日、10 月 5 日、令和 3 年 3 月 3 日

(5) ウェブサイトを利用した情報公開

公益目的事業の内容等の公開につとめるとともに、ウェブサイトの閲覧性を高めた。

（公益目的事業 2）

II. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究に功績のある者に対する褒賞

宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究を通して、人びとの幸福と平和な社会づくり、ひいては世界平和の推進に顕著な功績をあげた個人、または団体を表彰し、その業績を国内外のメディアを通じて世界的に広報する。

1. 庭野平和賞

(1) 第 37 回贈呈式・記念講演

- a. 日時：令和 2 年 10 月 26 日 午後 2 時～3 時
- b. 会場：オンライン（Zoom ビデオウェビナー）
- c. 概要：第 37 回庭野平和賞贈呈、受賞者による記念講演。ポンニユン師（第 37 回庭野平和賞受賞者）、財団関係者、宗教関係者、学術経験者、市民活動関係者、マスコミ関係者など約 160 名が参加した。

(2) 第 37 回庭野平和賞受賞者を囲む記者懇談会

- a. 日時：令和 2 年 10 月 30 日 午後 2 時～3 時 30 分
- b. 会場：オンライン（Zoom ミーティング）
- c. 概要：第 37 回庭野平和賞受賞者と京都宗教記者クラブ所属の記者との懇談会。ポンニユン師（第 37 回庭野平和賞受賞者）、京都宗教記者クラブ所属の記者など、約 15 名が参加し、受賞者による発題の後、記者との質疑応答を行った。

(3) 関連行事

a. 令和2年10月26日 受賞者と当財団の庭野浩土理事長の対談

2. 庭野平和賞委員会

(1) 第38回受賞者の選定並びに第39回候補者受付及び審査等の実施

A. 日程：

令和2年2月	第38回 第2次選考（～4月）
令和2年6月	第39回 一般推薦の推薦状送付
令和2年8月	第39回 一般推薦の締切
令和2年10月	第39回 庭野平和賞委員会委員への推薦依頼・受付
令和2年10月27日	執行委員会及び指名委員会（オンライン）
令和2年11月9・11・25日	平和賞委員会 第38回受賞者決定（オンライン） その後、調査及び内示の実施
令和2年11月	第39回 第1次選考（～12月）
令和3年2月26日	第38回 公式発表（京都、バチカン）
令和3年3月	第39回 第2次選考（～4月）

B. 第38回受賞者の選定

令和2年11月9・11・25日に開催された庭野平和賞委員会において、第38回庭野平和賞受賞者に、台湾の昭慧法師を選定した。受諾の意思を確認後、令和3年2月26日、京都及びバチカン（ローマ）において記者発表を行なった。（京都宗教記者会への記者会見はオンラインで実施）

(2) 庭野平和賞委員会（敬称略）

スーザン・ヘイワード（委員長）、ハルシア・クマラ・ナヴァラトネ、サラ・ジョセフ、ランジャンナ・ムコパディヤーヤ、フラミニア・ジョバネッリ、ムハンマド・シャフィーク、ノクゾラ・ムンデンデ、庭野日鑛

3. 庭野平和賞奨励賞の準備

令和2年7月30日、「庭野平和賞奨励賞」の追加による変更認定申請（内閣府／電子申請）を行ったところ、令和2年12月2日付けで認定された。

（公益目的事業3）

III. 宗教的精神にもとづく平和のための活動及び研究に対する助成

人びとの幸福と平和な社会づくり、ひいては世界平和の推進を目指した宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究へ資金助成を行う。

1. 公募による助成

(1) 実施概要

募集期間： 令和2年9月15日～10月15日
選考委員会： 令和3年2月8日
応募件数： 217件

助成件数： 10 件（採択 11 件中、1 件が政情不安により助成未実施）
助成総額： 9,287,647 円
助成期間： 令和 3 年 4 月から 1 年間
ねらい： 「分断された社会の中の対話と協力」
“Dialogue and collaboration in divided societies”

(2) 公募助成小委員会（敬称略）

茅野俊幸（委員長）、下澤嶽、工藤律子、牧田東一、内山義英、西 由江

(3) 助成先の決定

公募助成小委員会（選考委員会）で審査し選考した助成先を、理事長の決裁で決定した。

2. 非公募による助成（NPF プログラム）

助成総額 37,045,000 円

(1) 年度計画当初の助成・・・助成額合計 14,760,000 円（7 件）

A. 北東アジアの平和構築に寄与する「大学生交流」の基盤づくり（3 年目）

- a. 団体名：KOREA こどもキャンペーン
- b. 助成額：3,000,000 円

B. Social Justice を求める市民活動・連携促進プロジェクト

- a. 団体名：認定 NPO 法人 まちぽっと ソーシャル・ジャスティス基金
- b. 助成額：300,000 円

C. 子ども被災者支援基金 保養団体支援事業（新 3 か年計画の 2 年目）

- a. 団体名：一般社団法人 子ども被災者支援基金
- b. 助成額：3,000,000 円

D. 第 11 回東アジア市民社会フォーラム

- a. 団体名：公益財団法人 公益法人協会
- b. 助成額：460,000 円

E. 平和にユナイト！パキスタンにおける青少年の地域平和活動とアフガニスタンとの連携

- a. 団体名：一般社団法人 平和村ユナイテッド
- b. 助成額：2,000,000 円

F. 無料健康診断事業と結果報告会の事業を進展するうえでの基盤整備

- a. 団体名：特定非営利活動法人 北関東医療相談会
- b. 助成額：2,500,000 円

G. 第 7 回 9 条世界宗教者会議

- a. 団体名：9 条世界宗教者会議
- b. 助成額：3,500,000 円

なお、当初計画した 8 件の中で 1 件が新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止されたため、助成が 7 件になった。

- (2) 年度内の採択（臨時助成）・・・助成額合計 22,285,000 円（29 件）
- A. 「日本ボランティア・NPO・市民活動年表」第2版の製作
 - a. 団体名：社会福祉法人 大阪ボランティア協会
 - b. 助成額：300,000 円
 - B. <新型コロナウイルス>アフリカ緊急支援「生きる」ために食糧と手洗いを届けたい（※）
 - a. 団体名：特定非営利活動法人 エイズ孤児支援 NGO・PLAS
 - b. 助成額：500,000 円
 - C. ミニミニ（※）
 - a. 団体名：聖公会野宿者支援活動・渋谷
 - b. 助成額：300,000 円
 - D. 学習支援事業（※）
 - a. 団体名：特定非営利活動法人 キッズスマイル
 - b. 助成額：220,000 円
 - E. 新型コロナ移民・難民緊急支援基金（※）
 - a. 団体名：特定非営利活動法人 移住者と連帯する全国ネットワーク
 - b. 助成額：1,000,000 円
 - F. ルワンダにおける義肢製作所建築プロジェクト
 - a. 団体名：ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト
 - b. 助成額：2,000,000 円
 - G. JANIC COVID-19 緊急助成プログラム
 - a. 団体名：特定非営利活動法人国際協力 NGO センター（JANIC）
 - b. 助成額：1,000,000 円
 - H. COVID-19 流行下における安全な保健啓発活動補填事業（※）
 - a. 団体名：公益財団法人 ジョイセフ（JOICFP）
 - b. 助成額：500,000 円
 - I. レバノン・バイルートの難民キャンプにおけるパレスチナ難民世帯への食料支援（※）
 - a. 団体名：特定非営利活動法人 パレスチナ子どものキャンペーン
 - b. 助成額：1,000,000 円
 - J. カンダハール市第5地区でのボランティア地域保健員（CHW）による COVID-19 対策（※）
 - a. 団体名：認定特定非営利活動法人 カレーズの会
 - b. 助成額：1,000,000 円
 - K. シエラレオネケネマ県におけるコロナウイルス感染防止対策支援事業（※）
 - a. 団体名：特定非営利活動法人 Alazi Dream Project（略称 NPO 法人アラジ）
 - b. 助成額：1,000,000 円
 - L. 「ダリット」への食糧配給及び感染症拡大防止のための啓発活動（※）
 - a. 団体名：公益財団法人 PHD 協会

- b. 助成額 : 533,000 円
- M. 非正規滞在外国籍生活困窮者への食料支援事業 (※)
 - a. 団体名 : 特定非営利活動法人 北関東医療相談会
 - b. 助成額 : 500,000 円
- N. バングラデシュ BDP 学校再開に向けた衛生改善緊急対策事業 (※)
 - a. 団体名 : 特定非営利活動法人 アジアキリスト教教育基金
 - b. 助成額 : 1,000,000 円
- O. フィリピンマニラ首都圏における、COVID-19 感染拡大により生活が困窮した者に対する緊急物資提供と感染拡大防止のための意識啓発活動 (※)
 - a. 団体名 : 特定非営利活動法人 アイキャン
 - b. 助成額 : 650,000 円
- P. コロゴッチョスラムの女性と子どもたちへの緊急生活食糧支援及び COVID19 感染拡大防止のための公衆衛生支援活動 (※)
 - a. 団体名 : 特定非営利活動法人 リトル・ビーズ・インターナショナル
 - b. 助成額 : 700,000 円
- Q. Covid-19 緊急食糧支援 (※)
 - a. 団体名 : 認定特定非営利活動法人 ESA アジア教育支援の会
 - b. 助成額 : 870,000 円
- R. コロナ禍での炊き出し・相談支援活動 (※)
 - a. 団体名 : 特定非営利活動法人 TENOHASI
 - b. 助成額 : 1,000,000 円
- S. 新型コロナ対応緊急プログラム 1. 緊急助成第2弾 2. HAPIC セッション支援
 - a. 団体名 : 特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター (JANIC)
 - b. 助成額 : 2,000,000 円
- T. 新型コロナ対応緊急プログラムの緊急助成第2弾の広報活動とフォローアップ活動
 - a. 団体名 : 特定非営利活動法人 関西 NGO 協議会
 - b. 助成額 : 300,000 円
- U. 新型コロナ対応緊急プログラムの緊急助成第2弾の広報活動とフォローアップ活動
 - a. 団体名 : 特定非営利活動法人 名古屋 NGO センター
 - b. 助成額 : 300,000 円
- V. ムリンガセカンダリースクール ウォータープロジェクト (※)
 - a. 団体名 : ワールドランナーズ・ジャパン
 - b. 助成額 : 653,000 円
- W. チェルノブイリ原発事故処理作業員の医療支援 (※)
 - a. 団体名 : 特定非営利活動法人 チェルノブイリ救援・中部
 - b. 助成額 : 960,000 円

- X. インドネシア障がい児童家庭に対する新型コロナウイルス対策緊急支援 (※)
- a. 団体名：認定特定非営利活動法人 アジア車いす交流センター
 - b. 助成額：1,000,000 円
- Y. 医療・保健衛生活動事業 (※)
- a. 団体名：特定非営利活動法人 インド福祉村協会
 - b. 助成額：500,000 円
- Z. コミュニティ・キッチン&ガーデニング (※)
- a. 団体名：特定非営利活動法人 CODE 海外災害援助市民センター
 - b. 助成額：590,000 円
- AA. インド新型コロナウイルス緊急支援 (※)
- a. 団体名：認定特定非営利活動法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
 - b. 助成額：980,000 円
- AB. コロナ禍に対応した関西在住難民の生活支援事業 (※)
- a. 団体名：RAFIQ (在日難民との共生ネットワーク)
 - b. 助成額：500,000 円
- AC. 次世代ジャーナリズムを支援する第2回「ジャーナリズムXアワード」の企画実施と運営
～2年目のステップアップ～
- a. 団体名：ジャーナリズム支援市民基金
 - b. 助成額：429,000 円
- (※) 新型コロナウイルスの感染拡大によって市民社会に生まれた緊急支援のニーズに応える
ものであるとの配慮と認識の下、審査・決裁された案件。(22 件 15,956,000 円)
- (3) NPF プログラム助成小委員会 (敬称略)
- 川北秀人 (委員長)、浅見靖仁、熊岡路矢、米倉雪子、野口陽一
委員会開催日：令和2年5月27日、6月3日、6月17日、6月24日、7月29日、
12月15日、令和3年2月3日、2月26日
- (4) 助成先の決定
- 年度計画当初の助成先は、NPF プログラム助成小委員会において予め審査された助成案件を
理事会で審議して決定した。年度内の採択 (臨時助成) については、年度計画当初の助成が決
定された後に申請された、活動が1年未満で終了する短期的な案件を NPF プログラム助成小
委員会で審査し、その後、理事長による決裁で助成先を決定した。
3. 指定寄付による助成
- 本年度は、この助成に該当する他団体からの財源の提供がないため実施しなかった。
4. 助成委員会の開催
- 「助成委員会規程」にもとづき、令和3年3月2日に助成委員会を開催し、各助成小委員
会の委員長から聞き取りによって情報を収集し、助成事業全体の方針、運営他、助成事業に関
する重要事項について検討した。

[法人運営]

I. 総務

1. 法務に関する業務

(1) 内閣府との連絡、交渉及び法務局への登記事務他

- 令和2年4月20日 変更の届出（内閣府／電子申請）
- 令和2年6月30日 令和元年度事業報告等の提出（内閣府／電子申請）
- 令和2年7月3日 理事等の就任・退任による変更の登記申請（東京法務局新宿出張所）
- 令和2年7月20日 変更の届出（内閣府／電子申請）
- 令和2年7月30日 新たな事業の追加による変更認定申請（内閣府／電子申請）
- 令和3年3月25日 令和3年度事業計画書等の提出（内閣府／電子申請）
- 令和3年3月25日 評議員の辞任と監事の選任による変更の登記申請（東京法務局新宿出張所）

2. 会議に関する業務

(1) 理事会、評議員会の開催

令和2年5月28日

・第29回理事会

審議事項：令和元年度事業報告及び附属明細書の承認の件、令和元年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件、企画委員会規程の制定の件、第22回評議員会の開催の件

報告事項：令和2年度事業の進捗状況・理事長及び専務理事の職務執行状況について、令和元年度の寄附受領について、助成先の事業報告について

令和2年6月29日（決議及び報告があったものとみなされた日）

・第22回評議員会（決議及び報告の省略の方法による）

審議事項：評議員の選任の件、理事の選任、監事の選任、令和元年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件

報告事項：令和元年度事業報告及び附属明細書について、第29回理事会について、令和2年度事業の進捗状況・理事長及び専務理事の職務執行状況について

令和2年6月29日

・第30回理事会

審議事項：代表理事（理事長）及び業務執行理事（専務理事）の選定の件

報告事項：第22回評議員会の報告

令和2年9月10日（決議があったものとみなされた日）

・第31回理事会（決議の省略の方法による）

審議事項：第37回庭野平和賞贈呈式等の実施上の変更の件

令和3年3月8日

・第32回理事会

審議事項：公募助成小委員会委員の選出の件、庭野平和賞委員会委員選任の同意の件、役員及び評議員の報酬辞退への対応の件、庭野平和賞奨励賞運用規程の制定の件、庭野平和賞奨励賞委員会規約の制定の件、令和3年度事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みの承認の件、令和3年度資産運用基本方針の承認の件、第23回評議員会の開催の件

報告事項：令和2年度事業の経過報告・理事長及び専務理事の職務執行状況について、令和2年度収支決算見込みについて、助成先の事業報告について

令和3年3月23日

・第23回評議員会

審議事項：監事の選任の件

報告事項：第32回理事会について、令和2年度事業の経過報告・理事長及び専務理事の職務執行状況について、令和2年度収支決算見込みについて、令和3年度事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて、助成先の事業報告について

(2) 月例ミーティング

当財団業務の推進にあたり理事長への報告・調整・打ち合わせ等を実施

実施状況：令和2年4月26日、5月25日、6月29日、7月20日、8月17日、9月28日、10月19日、11月24日、12月28日、令和3年1月25日、2月22日、3月25日

(3) 諸会議の開催・運営

3. 監査に関する業務

(1) 監査のための諸資料の準備

(2) 監査の実施

実施日：令和2年5月20日

場 所：当財団会議室

内 容：令和元年度（平成31年4月1日～令和2年3月31日）の会計監査及び業務監査

4. 文書管理に関する業務

(1) 各種文書の作成、提出、管理及び保管他

5. 庶務に関する業務

(1) 什器備品、不動産、印刷物、公印等の管理他

(2) その他どの部門にも属さない事項の処理他

II. 財務

1. 資産運用及び管理に関する業務

(1) 債券等の運用

- A. 令和2年8月18日、債券の償還金(3億円)による、「DBパワーリバース債〈モルガン〉」(1億円)、「CITIパワーリバース債〈みずほ〉」(1億円)及び「BBリバースフローター債〈日興〉」(1億円)の購入
- B. 令和2年8月20日、米ドル建て債券の償還金(100万ドル)による、「米ドル建てBBコーラブル債〈みずほ〉」(100万ドル)の購入
- C. 令和2年11月10日、「合同運用指定金銭信託 STACCATO 〈三菱UFJ信託銀行〉」(1億円)の新規購入
- D. 令和2年12月17日、債券の償還金(1億円)による、「NSIリバースフローター債〈日興〉」(1億円)の購入
- E. 令和2年12月22日、債券の償還金(1億円)による、「SGIパワーR日産自動車債〈モルガン〉」(1億円)の購入
- F. 令和2年12月23日、債券の償還金(1億円)による、「DBパワーリバースデュアル債〈大和〉」(1億円)の購入

2. 経理、会計、記帳計算に関する業務

- ・現金、通帳の管理(外貨含む)
- ・随時、送金手配(海外送金含む)
- ・日々の伝票記帳、毎月の伝票、月次決算書の作成、確認
- ・源泉徴収税の納付
- ・法定調書の作成
- ・仮払金の管理
- ・寄附金の受付
- ・国税、地方税への対応

III. 労務

1. 事務局人員構成(令和3年3月31日現在)

常勤	高谷 忠嗣	専務理事
	廣中 誠司	事務局長
	仲野 省吾	助成・奨励賞担当
	関根 まなか	研究・普及啓発担当
	廣井 由紀子	総務・経理担当
	工藤 夏紀	平和賞担当

2. 人事及び福利厚生に関する業務

- ・勤怠管理及び出勤簿、勤怠月報の管理
- ・社会保険業務
- ・安全衛生及び福利厚生他

以 上

附属明細書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和3年6月

公益財団法人庭野平和財団